

# 旭ろうさい病院ニュース

病院情報誌 第187号

令和6年8月1日発行

発行所：旭ろうさい病院

〒488-8585

尾張旭市平子町北61番地

TEL 0561-54-3131

FAX 0561-52-2426

## 透析室 紹介

腎臓内科 主任部長 市川 匡



現在当院透析室にはベッド数12床、個室対応可能なベッド数1床あります。感染症や患者さんの病状に合わせ、個室での透析にも対応しています。電動ベッドに液晶テレビが個別に完備され快適な透析治療が受けられます。患者さん一人一人の状態に合わせた体重管理や栄養指導、フットケア、リハビリなど、透析時間を有効活用しQOL（生活の質）向上に努めています。

### 当院透析室の特徴

当院透析室は、慢性腎不全の管理やシャントの作成から透析導入、外来維持透析まで治療を行います。

慢性腎不全における透析療法は長くお付き合いしていく治療となります。長期間治療していく中で体調が悪くなる可能性もありますが、そのような状態となった場合にも、入院し治療を行いながら透析治療を継続できます。

## 当院の取り組み

### ① フットケア

透析治療を長く続けていると、腎臓だけでなく他の部分にも症状が現れることがあり、足病変を引き起こす可能性が高くなります。動脈硬化や末梢血管障害などにより、血液循環の問題から血管が詰まったりする「虚血」を引き起こしやすい状態となり、重症化すると壊疽、切断など最悪な状況となることがあります。

そこで、当院では定期的に足のチェックを行い、爪の手入れや保湿ケアなど患者さんと共にケアを進めて異常の早期発見に努めています。

### ② 透析中リハビリ

透析患者さんは健常者と比較すると下肢の筋力が 50%、日常生活動作も 50%低下するといわれています。透析治療は 4 時間透析で計算すると、約 5 時間を週 3 回、1 年で換算すると 780 時間ベッドに臥床していることとなります。このため理学療法士と連携を行い、看護師指導のもと筋力低下、フレイル予防のため透析時間を利用して、ベッド上で寝た姿勢でセラバンドやエルゴメーターの機械を用いて下肢の運動療法を行っています。透析治療では長時間の安静が必要ですが、その時間を有効に活用し、筋力の低下防止、運動機能の低下予防に努めており、患者さんの QOL（生活の質）を維持出来るよう援助します。

### ③ バスキュラーアクセス管理

安全に血液透析を行うために良好なバスキュラーアクセス（シャントなどの透析治療に必要な出入り口）は非常に重要です。当院では透析室、外科が連携し、定期的なシャント造影検査にて評価。PTA（経皮的血管形成術）や血栓除去術に至るまで、対応を行っています。

### ④ 災害対策

南海トラフ地震などを想定した透析治療中の災害に備え、年 2 回災害訓練を行なっています。ダイアライザーや透析回路などの物品の確保、自家発電装置など設備の強化に加え、災害発生時の行動説明、避難訓練、災害対策について力を入れております。

## ⑤ 栄養指導

透析中の患者さんはリン、カリウム、水分などの制限が必要となります。通常では耳慣れない成分の制限であり、透析時の採血結果を踏まえて栄養士が透析中にベッドサイドにて栄養指導を行わせていただきます。

希望者には透析後治療食を提供しています。

## 新規透析患者指導

透析治療が必要となった患者さんに対し、導入期の入院中にバスキュラーアクセス管理や食事など自己管理に必要な知識と、治療や通院に対する不安の軽減など、透析を始めた患者さんの精神的支えとなる指導を行います。



## 私たちの透析室

臨床工学技士 水野 利香

旭ろうさい病院の透析室では、腎臓内科医 2 名、内科医 8 名、外来看護師 13 名、臨床工学技士 2 名で透析管理をしています。

月・水・金、火・木・土のスケジュールで、送迎はありませんが朝 8 時 30 分から順次入室してもらい、13 床を回しています。

2 クールに分け主に午前は外来維持透析、午後は新規血液透析、緊急透析、入院患者透析の血液透析を行っています。

その他、顆粒球吸着療法や腹水濾過濃縮再静注法などのアフェリシス治療、ICU では持続的血液濾過透析やエンドトキシン吸着などの治療も病棟看護師と連携を取り行っています。

新規血液透析導入時には、独自のパンフレットを用いて、説明をさせていただきます。

また、外来維持透析で希望のある患者には、腎臓リハビリテーションとして透析開始 30 分よりストレッチを始め、エルゴメーターを使用した下肢の循環、関節可動域改善の運動やトレーニング、クールダウンなどそれぞれの患者に合ったプログラムを用意し、行っています。

このような運動療法は運動耐容能、歩行機能、身体的 QOL の改善効果が示唆されるために行うことが推奨されています。

その他フットケアや栄養管理指導も定期的に行い、透析時間以外でも患者に寄り添う医療を目指しています。



通院されていなくても何か気になる点やご不明点がございましたら、是非ご連絡下さい。

## 旭ろうさい病院総合内科の新体制について

総合内科 主任部長 小栗 太一



旭ろうさい病院総合内科では、このたび医師が一名増員され、四名体制を整えることができました。新たに迎えた星合 朗先生は、日本救急医学会認定の救急科専門医として、長年にわたり豊富な経験を積んでおります。星合先生の加入により、当科の救急医療能力が大幅に強化されました。

当科は、これまでロジカルシンキングを応用した診断推論法を用いて、原因不明の症状や他科で診断がつかない難しいケースの解明に注力して参りました。また、マルチモビディティ（多疾患併存）診療では、患者さんの社会的、心理的背景を踏まえた上で、全人的なアプローチを行い、複数の疾患を持つ患者さんの質の高い治療を実現しています。

星合先生の救急医療の専門知識と経験が当科の強みに加わることで、これまで以上に迅速かつ的確な医療サービスを提供できるようになりました。特に、緊急を要する症状を持つ患者さんに対しては、より手厚い医療が可能となり、安心してご利用いただける体制が整いました。

今後も旭ろうさい病院総合内科は、患者さん一人ひとりに最適な医療を提供し、地域医療に貢献して参ります。当科の新たな強みとなった救急医療も含め、幅広いニーズに応える体制がありますので、お困りの症例はぜひ当院にご紹介いただければと思います。



総合内科メンバー：左から星合医師、成井医師、小栗医師、村松医師

●地域医療連携室 連絡先●

フリーダイヤル 直通電話	0120-53-6196	(平日 8:15~19:00、土曜日 9:00~12:00)
F A X	0120-53-8459	
内科系当直ホットライン	080-4657-0939	(平日 17:00~8:15 及び土・日・祝)
外科系当直ホットライン	080-4871-7583	(平日 17:00~8:15 及び土・日・祝)